

第10期(2015年3月)第2四半期決算説明会

2014年11月21日

 ジャパンパイプ株式会社

I. 決算のポイント、主なトピックス	3 ~ 6
II. マーケットの動向	8 ~ 10
III. 第10期(2015年3月)第2四半期決算概要	12 ~ 15
IV. 経営概況	17 ~ 23

I . 決算のポイント、主なトピックス

1. 決算のポイント

- ・2013年12月のPV社(ベトナム)の子会社化により、第10期(2015年3月)はPV社(ベトナム)が通期で連結に寄与する。

(1)2014年度上期の連結売上高は、前年同期対比2.5%の増収となった。

- ・国内は前年同期対比3.8%減収、PV社(ベトナム)の連結化に伴い、増収となった。

- ・2014年度上期の国内コンクリートパイルの出荷量は業界全体で前年同期比11.0%減少した。

- ・当社の国内コンクリートパイルの完工シェアは前年同期対比1.5ポイントアップした。

(2)営業利益、経常利益が減少した。

- ・営業利益は前年同期対比14.1%、経常利益は同15.1%減少。

国内のコンクリートパイルの売上の減収が主な要因。

2. 主なトピックス(今年度)

- 2014年 6月 ファン カック ロン氏(PV社会長)が当社取締役役に就任。
PV社(ベトナム)との連携強化。
- 2014年 8月 既成コンクリート杭と空調技術を融合した画期的な地中熱利用システム工法を新日本空調株式会社と共同開発。
- 2014年10月 九州(福岡)新工場の建設着工。
- 2014年10月 中間配当(一株当たり6円)の実施を発表。
- 2014年10月 Phan Vu Hai Duong Joint Stock Company(ベトナム)の株式取得(約5億円、47.9%)を発表。
ベトナム北部における基礎工事関連事業の本格的展開に着手。
- 2014年10月 ミャンマーにて、Myanmar V-Pile Co.,Ltd(ミャンマー)、PV社(ベトナム)と当社による合弁会社VJP Co., Ltdの設立を発表。
ミャンマー国内でコンクリートパイルの生産販売を行う計画。

九州(福岡)新工場建設概要

- ・所在地 福岡県飯塚市鯉田工業団地内 (総敷地面積 約63千平方メートル)
- ・総投資額 約38億円
- ・製造能力 7万t/年 (最大約10万t/年)
- ・スケジュール 2014年10月 着工
2015年 6月 竣工予定
2016年 1月～4月生産、出荷開始予定
- ・本件投資の狙い 九州地区の大径化需要に対応、高支持力化を推進
杭運搬費用の削減
老朽化工場のバックアップ体制を構築

ミャンマーにおける合弁会社概要

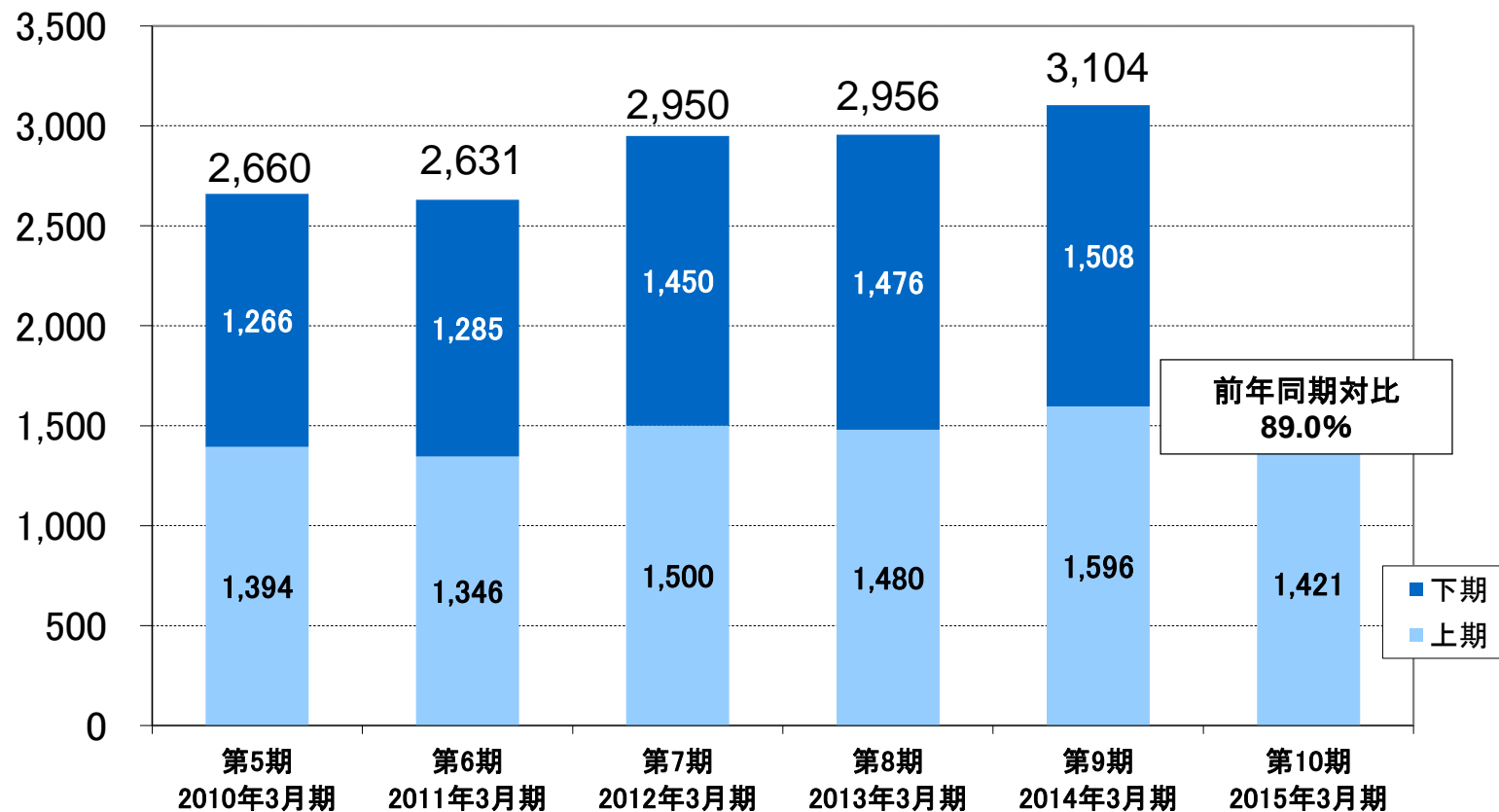
- ・目的 ミャンマー国内におけるコンクリートパイル生産及び基礎工事分野の展開を目指し、製造工場を設立
- ・所在地 ティラワ経済特区工業団地内
- ・資本金 12.5百万ドル
- ・出資比率 ジャパンパイル 55%、 Myanmar V-Pile Co.,Ltd 40%、 PV 社(ベトナム) 5%
- ・Myanmar V-Pile Co.,Ltd の概要
 ミャンマー最大手の基礎工事会社。総合建設、施工機材などの貿易、サービス業も展開。

Ⅱ. マーケットの動向

3. 全国コンクリートパイロ出荷量

コンクリートポール・パイロ協会資料

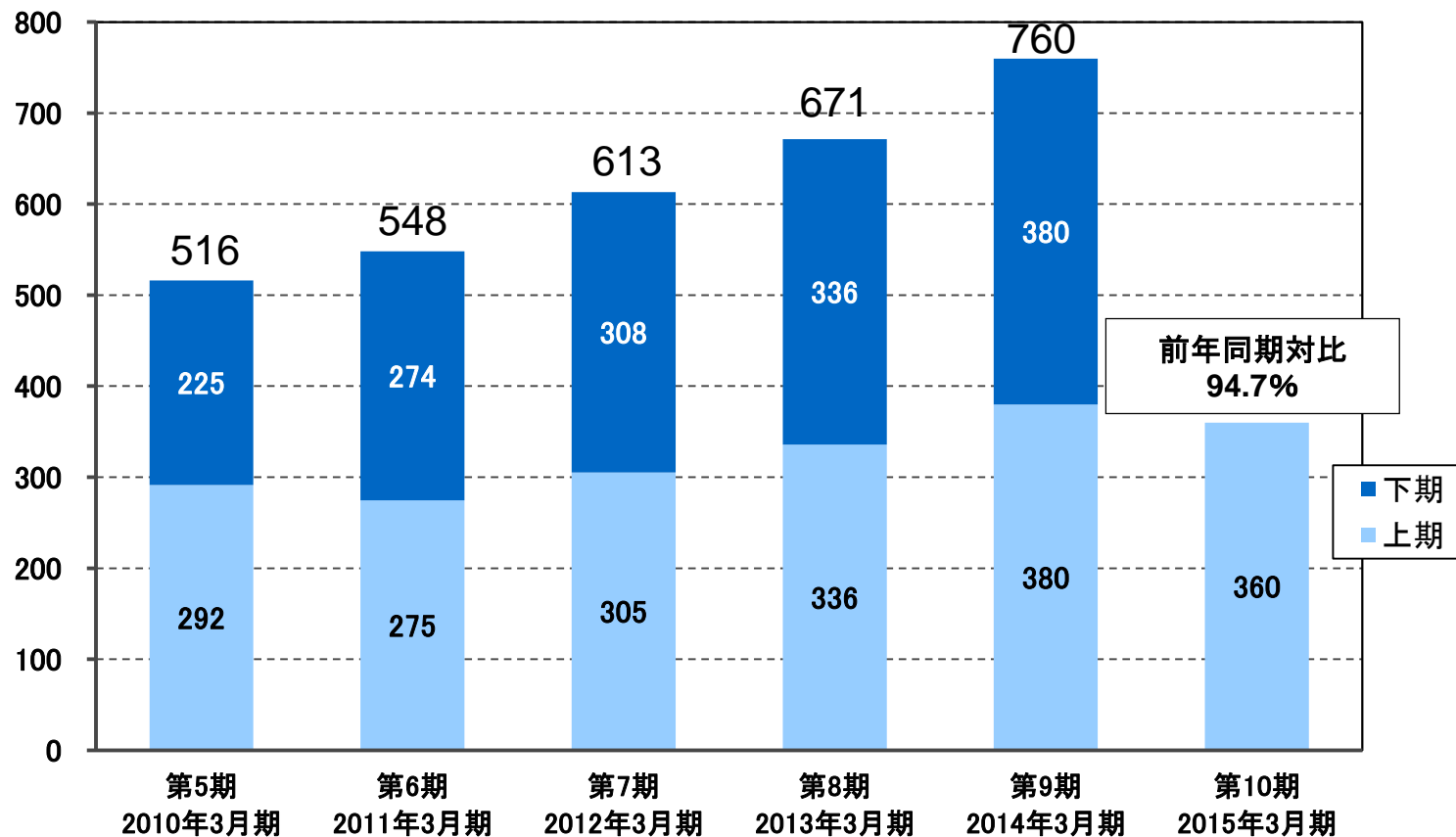
(単位:千トン)



全国の出荷量は、前年同期対比11.0%減少した。

4. 当社のコンクリートパイプ完工量

(単位:千トン)



当社の完工量は前年同期対比5.3%減少した。

5. コンクリートパイルのシェア

コンクリートポール・パイル協会資料

		第5期 2010年3月期 上期	第5期 2010年3月期 下期	第6期 2011年3月期 上期	第6期 2011年3月期 下期	第7期 2012年3月期 上期	第7期 2012年3月期 下期	第8期 2013年3月期 上期	第8期 2013年3月期 下期	第9期 2014年3月期 上期	第9期 2014年3月期 下期	第10期 2015年3月期 上期
ジャパンパイル	出荷量(千t)	237	202	251	247	272	275	313	326	378	333	325
	シェア	17.0%	15.9%	18.7%	19.2%	18.1%	18.9%	21.2%	22.1%	23.7%	22.1%	22.9%
	完工量(千t)	292	225	275	274	305	308	336	336	380	380	360
	シェア	20.9%	17.8%	20.4%	21.3%	20.3%	21.2%	22.7%	22.7%	23.8%	25.1%	25.3%
三谷セキサン	出荷量(千t)	282	309	293	290	390	358	344	343	376	382	351
	シェア	20.2%	24.4%	21.8%	22.5%	26.0%	24.7%	23.2%	23.5%	23.6%	25.3%	24.7%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	147	121	135	96	139	137	135	135	117	125	108
	シェア	10.5%	9.6%	10.0%	7.5%	9.3%	9.5%	9.1%	9.2%	7.4%	8.3%	7.6%
日本ヒューム	出荷量(千t)	138	83	105	107	131	120	101	122	135	135	132
	シェア	9.9%	6.6%	7.8%	8.3%	8.7%	8.2%	6.8%	8.2%	8.5%	8.9%	9.3%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	73	75	82	84	95	106	95	81	97	99	91
	シェア	5.2%	6.0%	6.1%	6.5%	6.3%	7.3%	6.4%	5.5%	6.1%	6.5%	6.4%
上位5社計	出荷量(千t)	877	791	867	824	1,027	995	988	1,008	1,103	1,074	1,007
	シェア	62.9%	62.5%	64.4%	64.1%	68.5%	68.6%	66.8%	68.3%	69.1%	71.2%	70.9%
総出荷量	出荷量(千t)	1,394	1,266	1,346	1,285	1,500	1,450	1,480	1,476	1,596	1,508	1,421

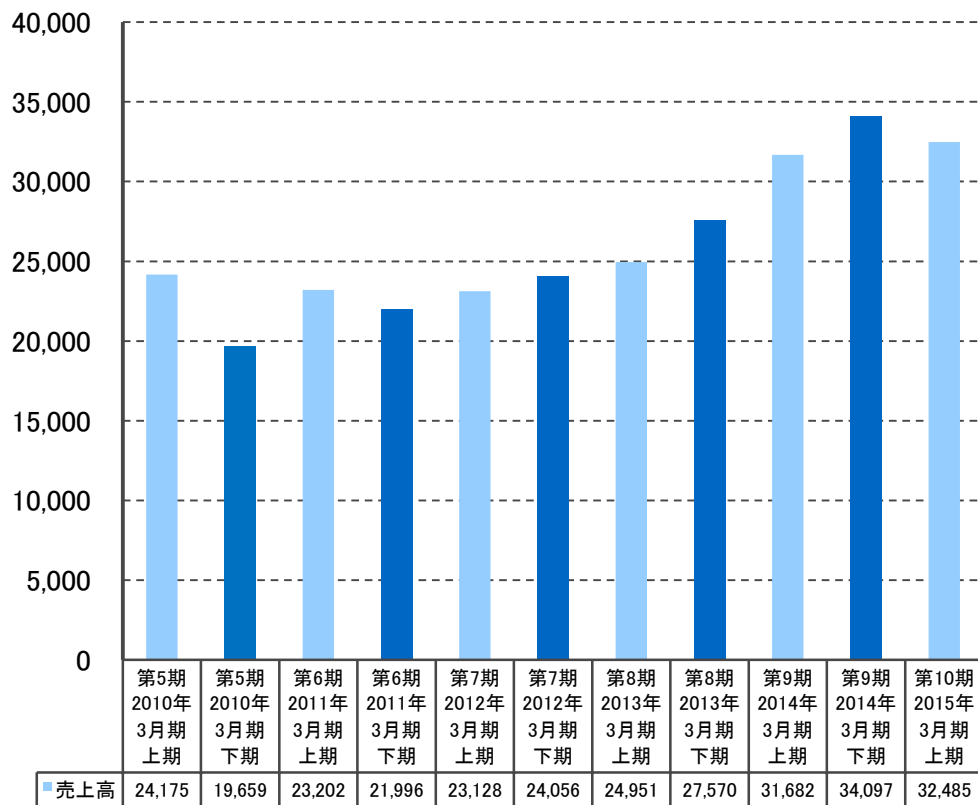
当社のシェアは業界トップ水準。

Ⅲ. 第10期(2015年3月) 第2四半期決算概要(連結)

6. 連結売上高・営業利益の推移

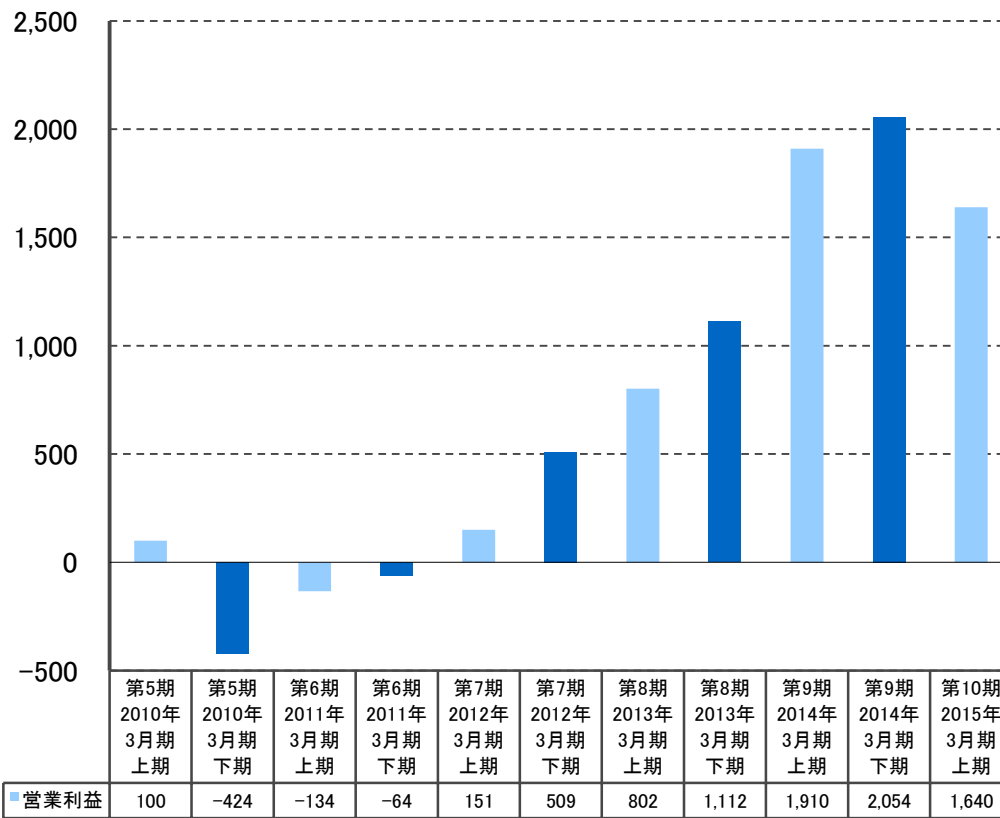
売上高

(単位:百万円)



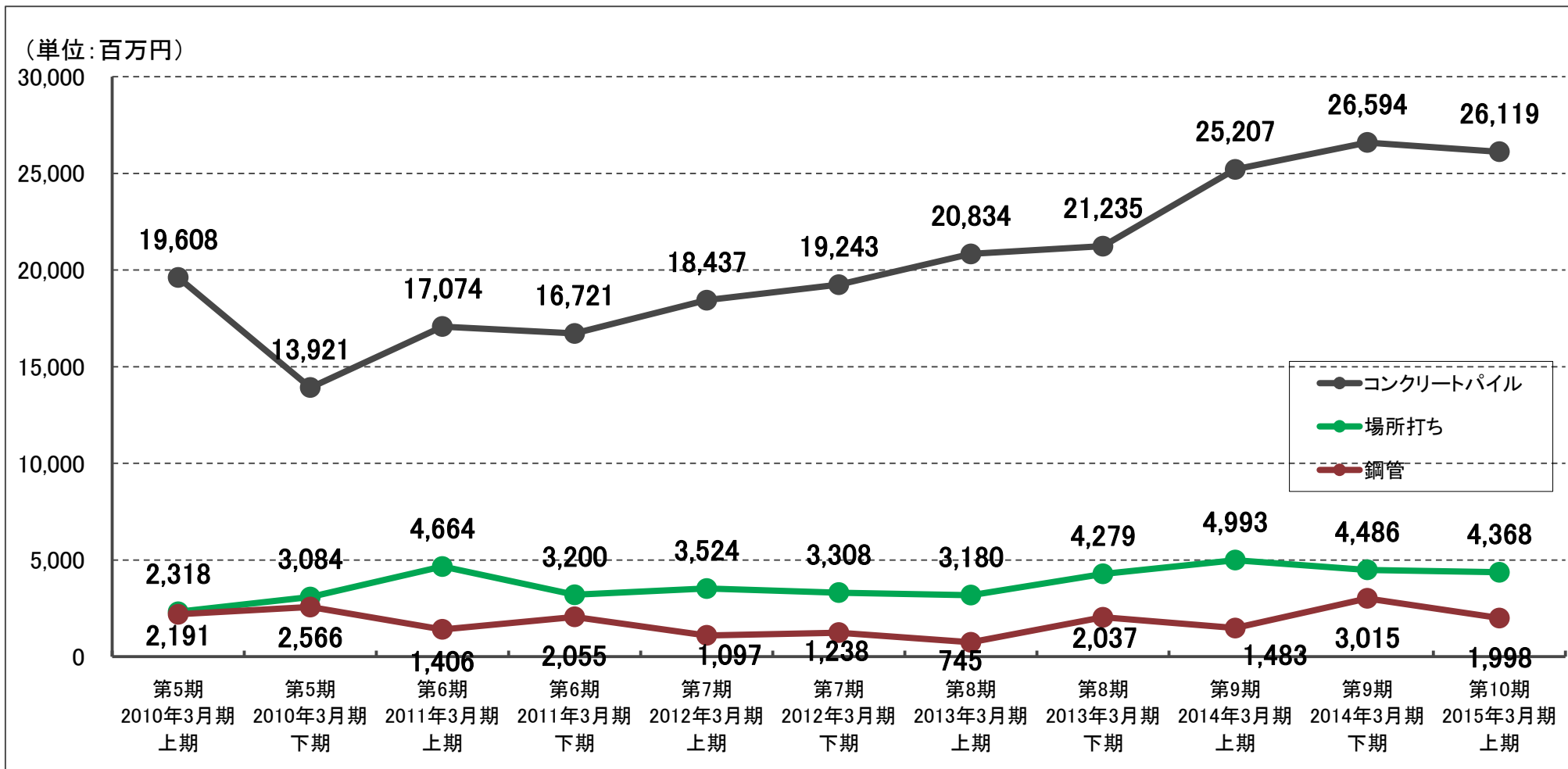
営業利益

(単位:百万円)



売上高は前年同期対比2.5%増加、営業利益は前年同期対比14.1%減少。

7. 事業別 売上高の推移



PV社の連結寄与により主力のコンクリートパイルが前年同期対比3.6%増加した。

8. 比較連結損益計算書

(単位:百万円)

	第8期 2013年3月期 (上期)	第8期 2013年3月期 【通期】	第9期 2014年3月期 (上期)	第9期 2014年3月期 (通期)	第10期 2015年3月期 (上期)
売上高	24,951	52,521	31,682	65,779	32,485
売上原価	20,952	44,422	26,509	55,010	27,246
売上総利益	3,998	8,099	5,173	10,768	5,239
(売上総利益率)	(16.0%)	(15.4%)	(16.3%)	(16.4%)	(16.1%)
販売費及び一般管理費	3,195	6,185	3,262	6,803	3,598
営業利益	802	1,914	1,910	3,964	1,640
営業外収益	255	503	226	570	289
営業外費用	121	251	114	295	211
経常利益	936	2,167	2,023	4,239	1,718
特別利益	26	119	9	50	7
特別損失	176	87	30	76	16
税金等調整前純利益	787	2,198	2,002	4,213	1,710
法人税等合計	97	163	742	1,511	562
少数株主損益	9	24	13	40	△9
当期純利益	679	2,011	1,247	2,661	1,157

9. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)	第8期 2013年3月期 (上期)	第8期 2013年3月期 (通期)	第9期 2014年3月期 (上期)	第9期 2014年3月期 (通期)	第10期 2015年3月期 (上期)
税金等調整前当期純利益	787	2,198	2,002	4,213	1,710
減価償却費	429	898	476	1,068	708
売上債権の増減 (△は増加額)	△ 985	△ 2,106	△ 1,260	△2,276	△275
たな卸資産の増減 (△は増加額)	△ 521	△ 1,471	△ 957	548	△13
仕入債務等の増減 (△は減少額)	1,050	3,533	2,497	1,317	△561
その他	127	△ 89	94	△359	△910
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	888	2,963	2,853	4,511	658
有形固定資産の増減	△ 42	△ 131	△ 330	△1,214	△1,020
投資有価証券の取得	△ 1	△ 625	△ 1	△135	△1
その他	△ 102	44	118	△96	565
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 146	△ 712	△ 213	△1,445	△455
借入金・社債の増減	△ 75	△ 2,280	△ 955	△1,995	△678
配当金の支払	△ 208	△ 208	△ 290	△435	△248
株式発行による収入	—	1,096	—	4,184	—
その他	△ 185	△ 462	△ 190	271	△184
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 468	△ 1,854	△ 1,435	2,025	△1,112
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	6,340	6,463	7,668	11,564	10,651

営業キャッシュ・フローは658百万円のプラス。

IV. 経営概況

10-1. 経営概況1

1.前期の特徴

(1)夏以降、回復期待が裏切られた

(2)4年ぶりに民需は減少した

(3)足下の受注は改善傾向

10-2. 経営概況2

2. 前期当社の特徴

(1) 海外事業が軌道に乗る

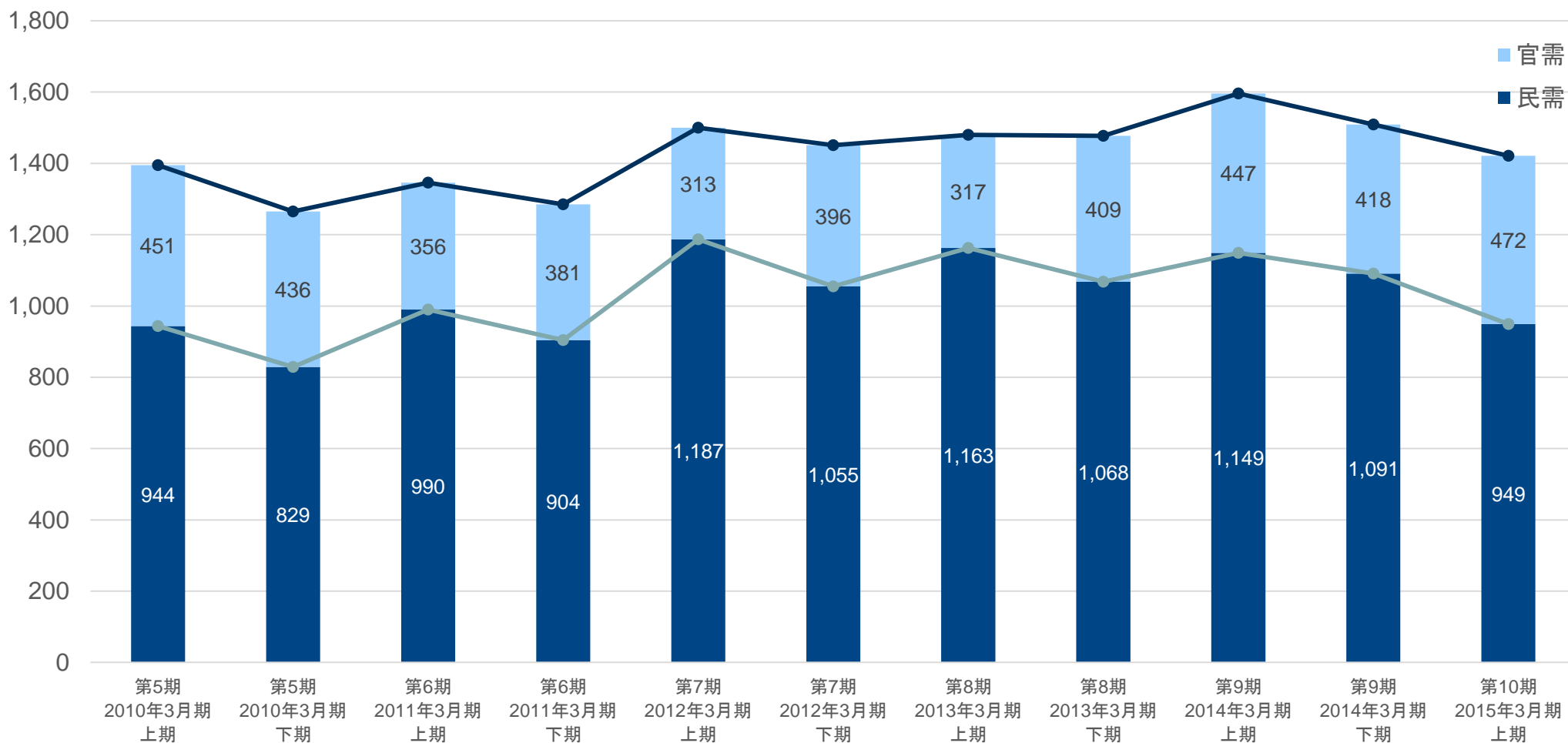
(2) 総合基礎建設業が更に浸透

(3) 大型工事の増加

3. 今期の見通し

全国のコンクリートパイプ出荷量(官需・民需別)

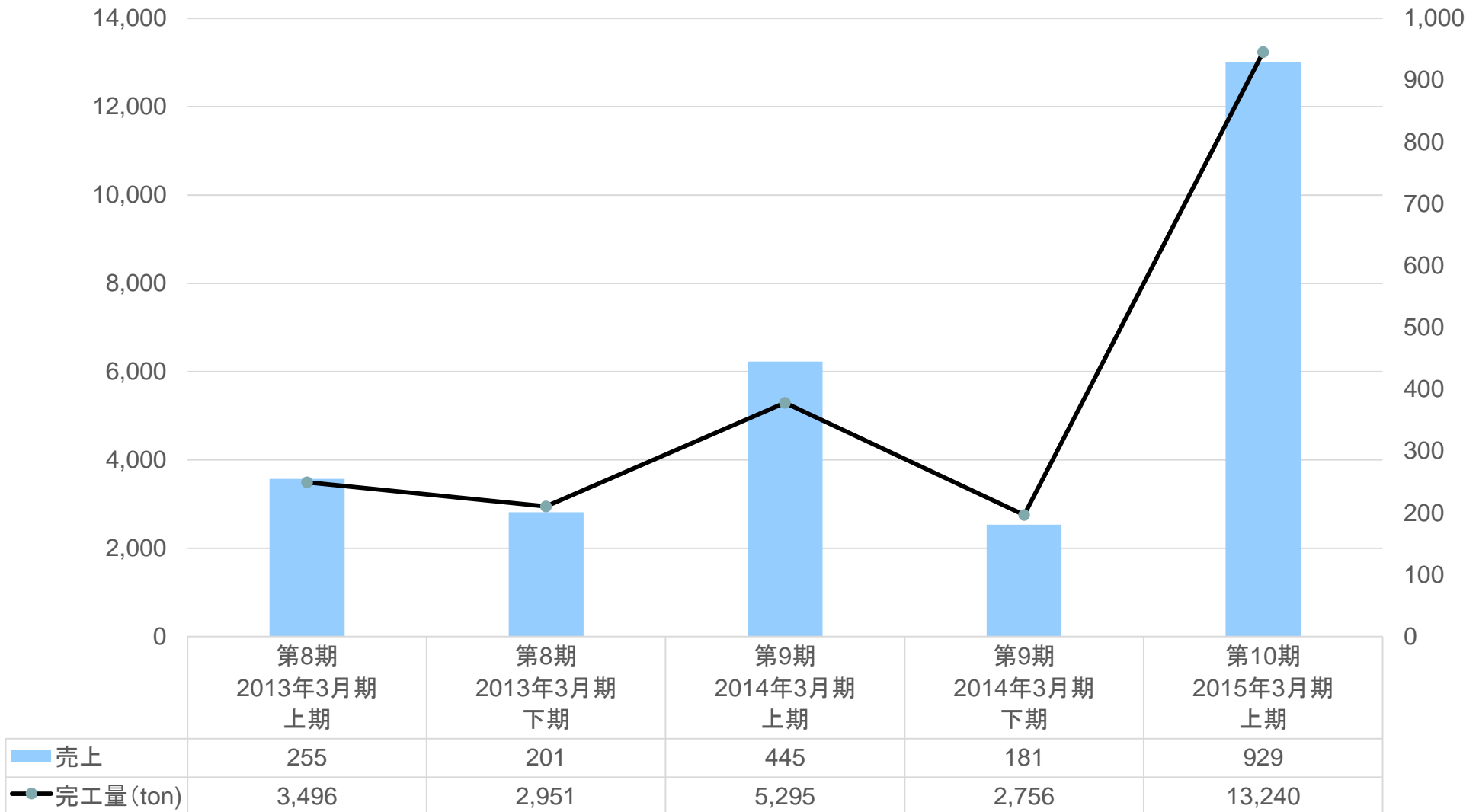
(単位:千トン)



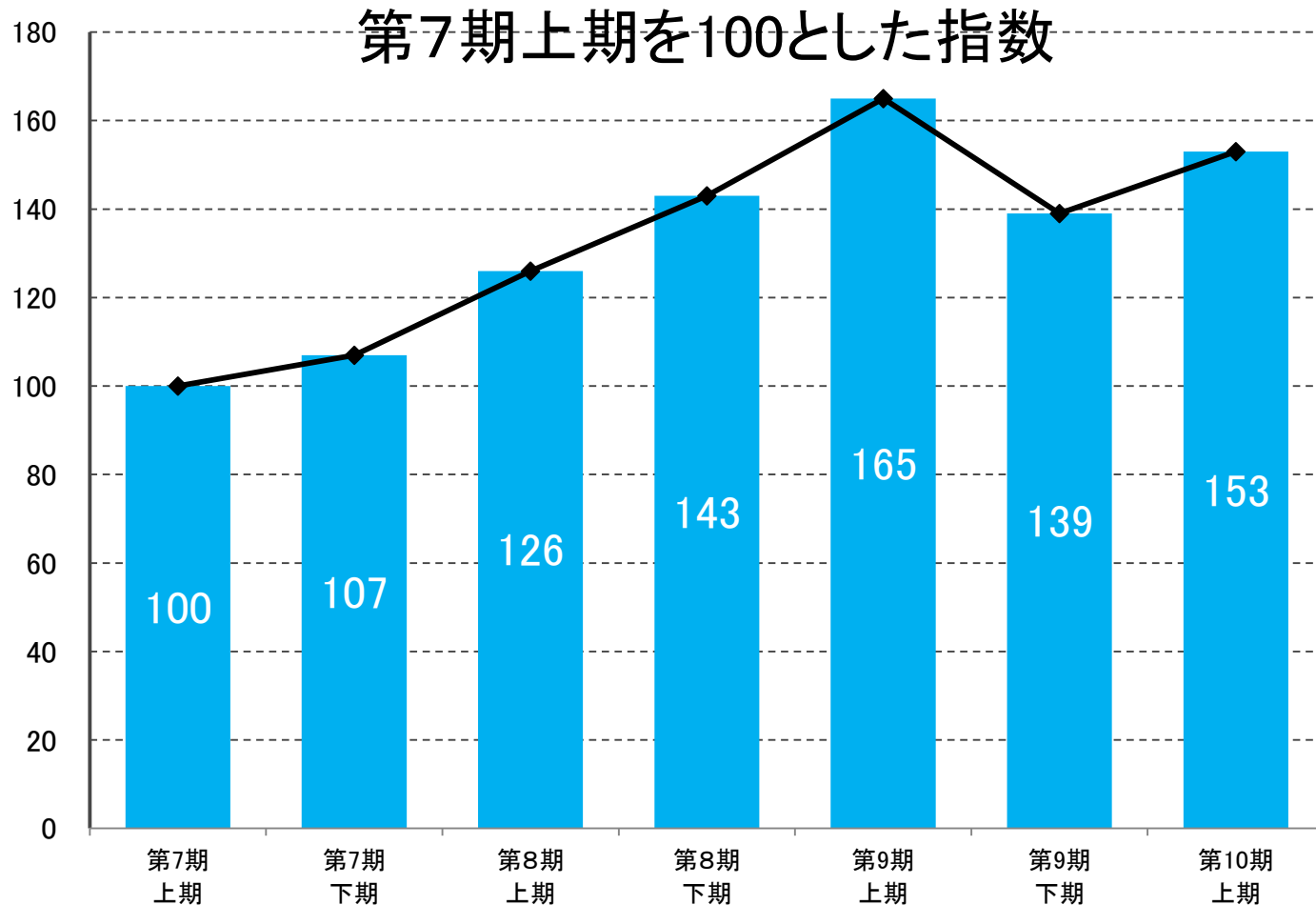
当社の復興需要推移

(単位:トン)

(単位:百万円)



受注額の傾向



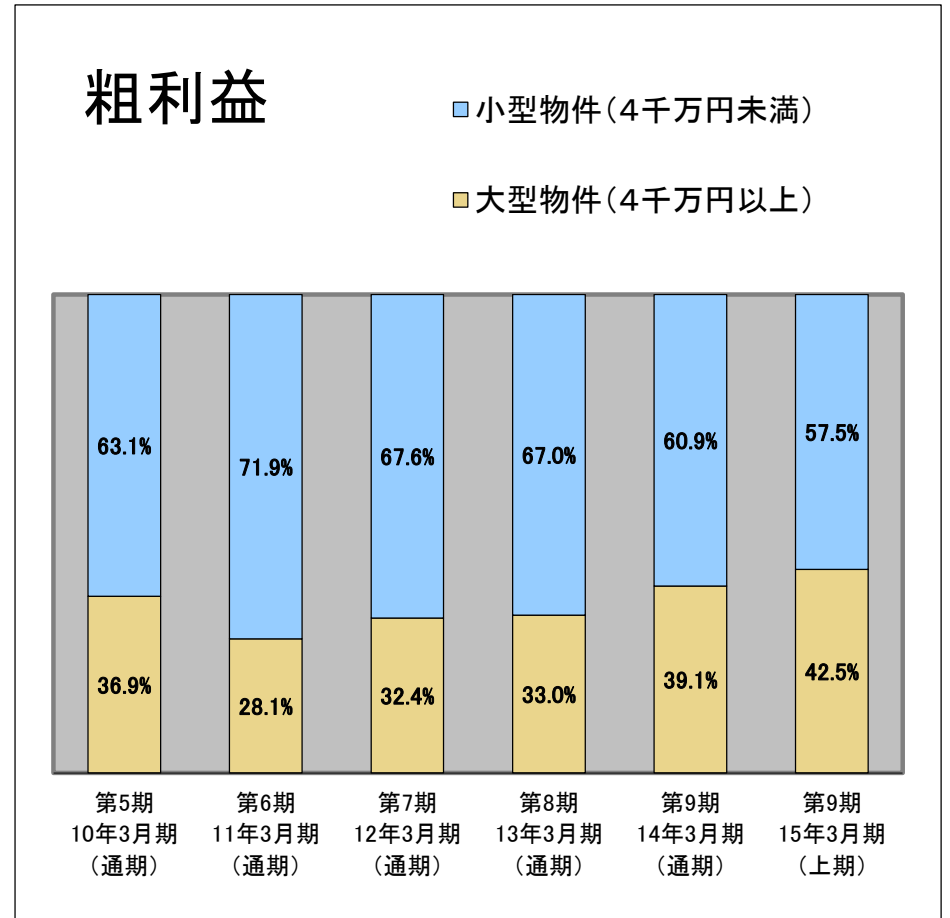
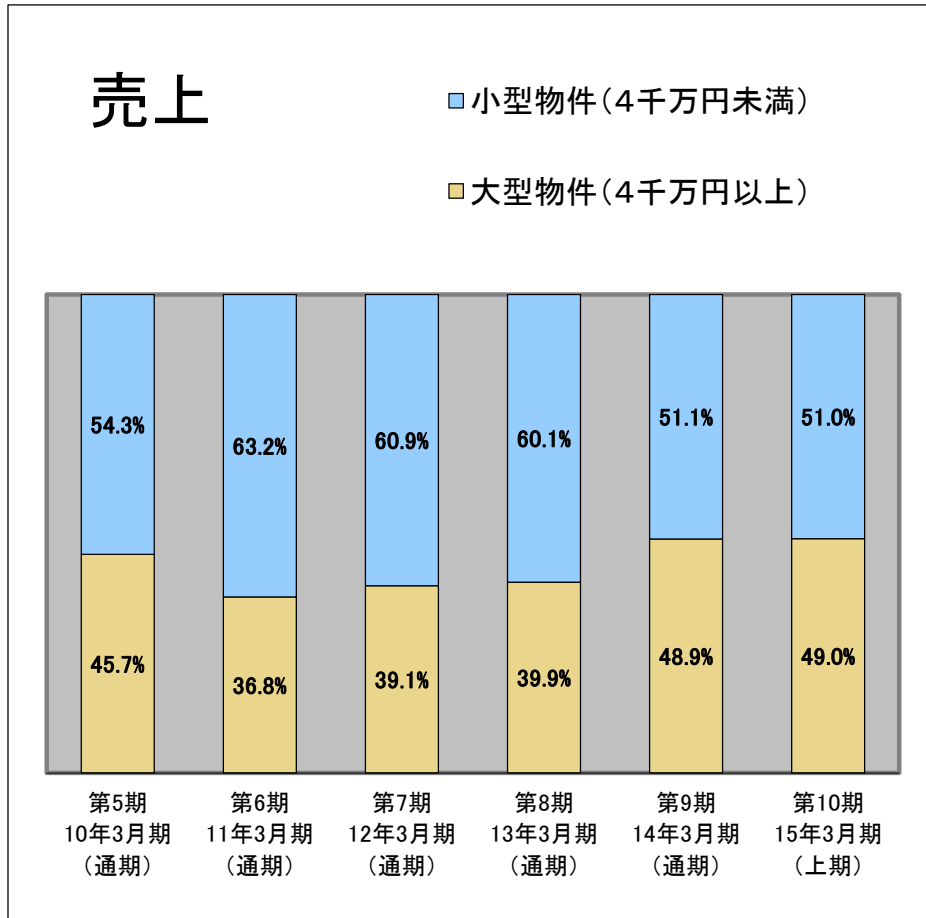
受注総額では、前年下期比10%の増加。

海外事業の本格化

- ・2010年7月 ベトナム最大手PV社に5%出資し、東南アジア市場への一歩を踏み出す。
以降、生産技術、建設技術の改善、経営体制の改革を図る。
逐次必要資金を追加出資し収益力を強化した。
- ・2012年9月 大型案件が集中するベトナム中部のクアンビン省にコンクリートパイル製造
販社をPV社と合併で設立。
- ・2013年12月 PV社への出資比率52.4%引き上げ、連結子会社化。
- ・2014年10月 PV社はベトナム南部での大規模工場を建設中。
同時にベトナム北部での大規模工場の建設に着手。
- ・2014年10月 ミャンマーで最大手のVパイル社と合併事業を開始する。

**約4年にて順調に体制を構築、
今後アセアン市場のトップシェアを目指す。**

売上高別の売上・粗利益の比率



大型物件の比率が増加。